

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	データベースを用いた肝臓・胆道・膵臓癌手術症例の後方視的観察研究
研究機関名	愛媛大学医学部
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者	愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科 教授 榎田祐三
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2031 年 12 月 31 日
対象となる方	2015 年 1 月から 2030 年 12 月に当院を受診された方のうち肝臓癌・胆道癌・膵臓癌と診断され、手術を受けた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	肝臓、胆道(胆管や胆のう)、膵臓にできるがんは発生する頻度が少なく、1つの病院で診る患者さんの数は多くありません。さらに、がんができた場所や広がり方によって手術方法が大きく変わり、病院ごとの方針や医師の経験によっても治療内容が異なります。そのため、1つの病院だけのデータでは十分な研究ができず、信頼性の高い結果を得るには多くの病院が協力して患者さんのデータを集める必要があります。私たちは愛媛大学と関連病院で力を合わせ、これらのがんについて調査・研究を進めています。この取り組みによって、地域全体の医療を良くするだけでなく、全国的な研究にも貢献していきたいと考えています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳

	重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科 教授 榎田祐三 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5327

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科 教授 榎田祐三
共同研究機関	愛媛県立中央病院 消化器外科 渡邊常太 市立宇和島病院 外科 中村太郎